

リノベーション・実証の概要

WASSHAのサービス(未電化地域の低所得層向けのLEDランタン等充電機器レンタルサービス)はアフリカの農村地域の小規模店舗(=キオスク)にて提供されている。本事業では、このサービスの利用を促進し、CO2排出削減に資する以下のリノベーション・実証を行う。

① キオスク選定方法の精緻化:

より多くの利用者を獲得するためには優秀なキオスクを選定する必要がある。キオスクの様々な情報を収集し、それらの情報を人工知能による機械学習を通じて分析することで、よりモチベーションが高く、ビジネスの知見があるキオスクを効率的に選定できるようにする仕組みの構築・導入を行う。

② 環境価値の見える化による利用促進:

WASSHAのサービスによるCO2排出削減量(環境価値)を利用者単位で見える化し、その削減量に応じたリワード/ペナルティを設計することで、サービスの利用をさらに促進し、CO2排出削減量を最大化する仕組みを構築・導入する。



①選定方法の精緻化
 情報収集アプリの開発、
 情報分析ロジックの検証
 (機械学習)によりユーザー
 獲得率の向上を目指す

②環境価値見える化
 利用者の日々のCO2排出
 削減量を周知し、その多寡
 によって特典・割引を行うこ
 とで利用率の向上を目指す

対象とする国・地域の概要



地図データ©2018 Google

人口5,000万人のうち、
 4,000万人が未電化の国
 タンザニアで、
 広く全国に展開する
 WASSHAキオスクを通じ
 て実証を行う

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

- STEP1: タンザニアにおける事業化トライアルの実施
- STEP2: タンザニアにおける商用展開
- STEP3: タンザニア以外の国への展開

普及の見込み

①を利用しての新規導入について、2018年は50%の選定、2019年は80%、2020年は99%で選定を行うことを目標とする。②の目標は2018年内に200名、2019年に2,000名、2020年に20,000名の利用者増を目指す。また、本補助事業の副次的効果として、雇用創出、教育機会の拡充、マーケティングデータの活用等が挙げられる。